

# 香川大学リカレント専門講座 「ジオツーリズム・エキスパート養成講座」実施報告

長谷川 修 一  
鶴 田 聖 子

## 1. はじめに

ジオパークは、大地の成り立ち（ジオ）から、地域の自然環境や生態系（エコ）と人間の生活・産業・歴史・文化（ヒト）とのつながりを考える活動で、世界的な価値のある地質・地形の保全、地域の自然や文化に関する教育、および大地の資源を活かしたジオツーリズムによって地域の持続的発展を目指す取り組みである。ジオツーリズムは景観や環境を損なうことのない持続可能な観光であるとともに、香川県の歴史や自然、人々の暮らしや地場産業のルーツなどを探求し、子どもの教育や大人の生涯学習にも活用できる観光でもある。

筆者らは現在までに一般向けの公開講座として、「讃岐ジオサイト探訪」、「讃岐ジオガイド養成講座」、「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」を開講し、同志の輪を広げるとともに、地域と連携したジオツアー・ジオ教育を行う人材の育成を行ってきた。

今回、県外・外国からの旅行者に付加価値のある観光を企画・提供するため、ジオツーリズムを業務に活用したい行政職員、企業関係者等を対象にリカレント専門講座「ジオツーリズム・エキスパート養成講座」を開講したので、その概要を報告する。

## 2. ジオツーリズムとは

フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』によれば、「ジオツーリズム（Geotourism）とは単なる美的な鑑賞眼のレベルを超えて、ある場所の地球科学的な現象に対して興味や関心を持ち、知識と理解の獲得を目指す観光である。ジオツーリズムは、貴重なあるいは重要な地質・地形学的景観を保全している地域における、その景観や環境を損なうことのない持続可能な観光であり、子どもの教育や大人の生涯学習に資する観光でもある。さらにその観光を通じて地域経済の発展につなげていくことも目的としている。」と定義されている<sup>1)</sup>。

また、日本大百科全書（ニッポニカ）は「ジオツーリズム」について以下のように解説している<sup>2)</sup>。

「ジオツーリズムは、地域の地史や地質現象などがわかる大地の遺産を訪ね、古い時代の生物と環境との関係や、人類の文化的な足跡などを学ぶ観光旅行。地質観光ともいう。また、広義には地域がジオパーク（地質遺産）の保全を進めながら、博物館の整備や自然観察などの普及を図ることにより、持続可能な地域社会、経済活動の基盤をつくることも含めている。ジオgeoは、ギリシア語のge（大地）に由来し、地球や土地、地理などの意味がある。ジオツーリズムにおいて、重要な地質や地形的な景観を保全している地域をジオサイトgeositeという。」

世界ジオパークネットワークのアロウカ宣言（2011）によれば、「ジオツーリズムは領域のアイデンティ

ティを維持、強化するツーリズムで、地質、環境、文化、美、遺産、住民の幸福が考慮されなければならない」と定義されている<sup>3)</sup>。またアロウカ宣言（2011）を受けて、ナショナルジオグラフィックは、「ジオツーリズムとは、その土地の環境、遺産、美学、文化、住民の幸福など、土地の独特の地理的特徴を維持または強化する観光」と定義している。そして、ジオツーリズムは、地域の人々が気づかないコンテンツやストーリーを作成して、訪問者を引き付け、地域経済を活性化させると共に、環境、文化、経済の持続可能性を目標に、地域に深く関わる観光であり、その条件として以下のように13の原則を挙げている<sup>4)</sup>。

- ①自然遺産や文化遺産を反映した差別化と文化的誇りの醸成
- ②世界観光倫理規範と、国際記念物・遺跡評議会（ICOMOS）が制定した文化観光憲章の原則を遵守
- ③地域の自然、歴史、文化に基づく観光へのアプローチを支援
- ④関係する地域社会の経済的および社会的利益を奨励
- ⑤満足し、興奮したジオトラベラーが物語を拡散し、追体験者を引き出す
- ⑥環境に配慮した観光を推進
- ⑦観光資源・環境を保全しながら利益を上げるビジネスモデル
- ⑧経済の多様化と人口流入の持続可能なレベルへの制限
- ⑨望ましくない過剰開発や劣化を防ぐ
- ⑩短期的および長期的に経済的回復力を最大化する
- ⑪観光客がより豊かな経験をし、住民が自分の地域への誇りを醸成
- ⑫独特の資産に関する情報を高く評価し、尊重し、広める
- ⑬定期的に実施する評価プロセスを確立し、評価結果を公表する

このように定義に差異はあるものの、ジオツーリズムは、知的好奇心をくすぶり、かつ地域の人々の幸せと環境・文化の保全に貢献できる高加価値で、満足度の高いツアーであることが期待されている。

### 3. 講座概要

香川大学リカレント専門講座は、地域人材共創センターが主管する社会人向け公開講座で、従来の生涯学習・教養的な一般人向け講座とは違い、企業、行政機関等のニーズや要望を聴き、企業・社会人向けの専門性の高い知識・技術等を教授する研修講座である。香川大学リカレント専門講座「ジオツーリズム・エキスパート養成講座」は、ジオツーリズムの企画運営を行うことができる人材を養成することを目的に、大地の成り立ちと地域の景観・食・産業などの地域資源等と結びつけるジオストーリーの組み立て方の基本と実践方法を学ぶ講座で、6月30日（木）は、ガイダンス、大地の成り立ち、ジオツーリズムについての全般の講義、7月21日（木）はジオツーリズムに必要な視点の講義と四国のジオパークの実践例紹介、9月8日（木）は受講者による発表会と平日3日間に集中して実施された。

- (1) 開 講 日 時 令和4年6月30日（木）、7月21日（木）、9月8日（木）
- (2) 参 加 人 数 34名
- (3) 受 講 者 属 性 対象 ジオツーリズムを業務に活用したい行政職員、企業関係者等
- (4) 会 場 香川大学幸町北キャンパス 研究交流棟6階 香川大学地域人材共創センター第1講義室
- (5) 受 講 料 39,000円（税込）

### 3.1 「ガイダンスとプログラムのねらい」と外部講師による講義

令和4年6月30日（木）の講座は34名全員参加で、「ガイダンスとプログラムのねらい」を説明の後、外部講師による講義を行った。

(1) 日 時：2022年6月30日（木）

(2) 受講者数：34名

(3) 講義内容：

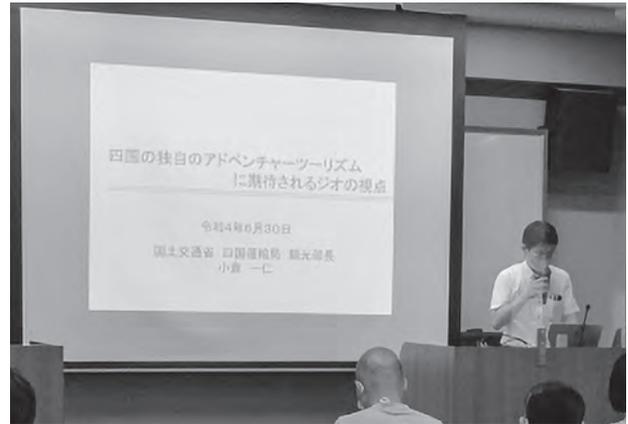
- ①ガイダンスとプログラムのねらい（講師：香川大学特任教授 長谷川修一）
- ②四国の独自のアドベンチャーツーリズムに期待されるジオの視点  
（講師：四国運輸局観光部長 小倉一仁）
- ③世界一の変動帯日本列島からの試練と恩恵：「変動帯の民」の営みとジオ・ストーリー  
（講師：ジオリブ研究所長 巽好幸）
- ④ジオツーリズムの実践方法（講師：日本ジオツーリズム協会会長 福島大輔）

表1 香川大学リカレント専門講座「ジオツーリズム・エキスパート養成講座」スケジュール

実施日	実施日	テーマ		講師
6月 30日	10:00-11:00	ガイダンスとプログラムのねらい		香川大学特任教授 長谷川修一
	11:10-12:10	四国の独自のアドベンチャーツーリズムに期待されるジオの視点		四国運輸局観光部長 小倉一仁
	13:30-15:00	世界一の変動帯日本列島からの試練と恩恵「変動帯の民」の営みとジオ・ストーリー		ジオリブ研究所長 巽好幸
	15:10-16:40	ジオツーリズムの実践方法		日本ジオツーリズム協会 会長 福島大輔
7月 21日	10:00-10:20	ジオツーリズムに必要な視点	まちづくり	香川大学経済学部教授 西成典久
	10:30-11:00		グリーンツーリズム	香川大学経済学部教授 原直行
	11:00-11:30		持続可能な観光における食×ジオ	香川大学地域マネジメント研究科長 原真志
	11:40-12:10		災害の脅威と恵み	香川大学特任教授 長谷川修一
	13:30-13:50	ジオツーリズムの実践例の発表	讃岐ジオパーク構想	讃岐ジオガイドの会 横山昌太郎
	13:50-14:10		三好ジオパーク構想	みよしジオガイドの会 平岡広美
	14:10-14:30		四国西予ジオパーク	一般社団法人西予市観光物産協会 篠原敬
	14:30-14:50		室戸ユネスコ世界ジオパーク	室戸市地域プロジェクトマネージャー 遠枝澄人
	14:50-15:10		土佐清水ジオパーク	土佐清水ジオパーク認定ガイド 村松真佐美
15:20-16:40	ジオツアーの企画に関するワークショップ		香川大学特任教授 長谷川修一	
9月 8日	13:30-16:40	ジオツーリズム企画案発表会		四国運輸局観光部長 小倉一仁 四国ツーリズム創造機構 副本部長 六車智和 香川大学経済学部教授 西成典久 香川大学特任教授 長谷川修一



ガイダンスとプログラムのねらい  
(香川大学特任教授 長谷川修一)



四国の独自のアドベンチャーツーリズムに期待される  
ジオの視点 (四国運輸局観光部長 小倉一仁 氏)



「変動帯の民」の営みとジオ・ストーリー  
(ジオリブ研究所長 巽好幸 氏)



ジオツーリズムの実践方法  
(日本ジオツーリズム協会会長 福島大輔 氏)

写真1 ガイダンスと外部講師による講義

### 3.2 ジオツーリズムに必要な視点と実践例

令和4年7月21日(木)の講座は32名の参加で、午前中は「ジオツーリズムに必要な視点」の講義、午後からはジオツーリズムの四国のジオパークでの実勢例の発表及びジオツアーの企画に関するワークショップ(香川大学特任教授 長谷川修一)を行った。ワークショップでは、ジオツアーの企画、ジオストーリーの作り方の講義の後、グループに分かれてワークショップを行った。

(1) 日 時: 2022年7月21日(木)

(2) 受講者数: 32名

(3) 講義内容:

① ジオツーリズムに必要な視点

- ・まちづくり(香川大学経済学部教授 西成典久)
- ・グリーンツーリズム(香川大学経済学部教授 原直行)
- ・持続可能な観光における食×ジオ(香川大学地域マネジメント研究科長 原真志)
- ・災害の脅威と恵み(香川大学特任教授 長谷川修一)

② ジオツーリズムの実践例の発表

- ・讃岐ジオパーク構想(讃岐ジオガイドの会 横山昌太郎 氏)

- ・三好ジオパーク構想（みよしジオガイドの会 平岡広美 氏）
  - ・四国西予ジオパーク（一般社団法人西予市観光物産協会 篠原敬 氏）
  - ・室戸ユネスコ世界ジオパーク（室戸市地域プロジェクトマネージャー 遠枝澄人 氏）
  - ・土佐清水ジオパーク（土佐清水ジオパーク認定ガイド 村松真佐美 氏）
- ③ジオツアーの企画に関するワークショップ（香川大学特任教授 長谷川修一）



まちづくり（経済学部 西成典久教授）



グリーンツーリズム（経済学部 原直行教授）



持続可能な観光における食×ジオ  
(地域マネジメント研究科 原真志研究科長)



災害の脅威と恵み（長谷川修一特任教授）

写真2 講義「ジオツーリズムに必要な視点」



讃岐ジオパーク構想の取組み  
(讃岐ジオガイドの会 横山昌太郎 氏)



三好ジオパーク構想の取組み  
(みよしジオガイドの会 平岡広美 氏)



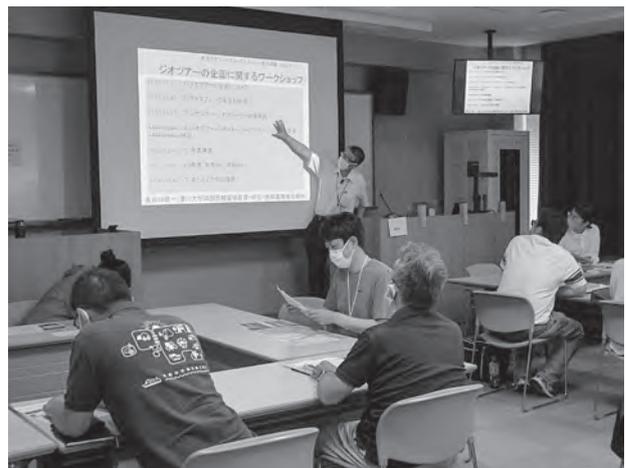
四国西予ジオパークの取組み  
(一般社団法人西予市観光物産協会 篠原敬 氏)



室戸ユネスコ世界ジオパークの取組み  
(室戸市地域プロジェクトマネージャー 遠枝澄人 氏)



土佐清水ジオパークの取組み  
(土佐清水ジオパーク認定ガイド 村松真佐美 氏)



ワークショップ

写真3 ジオツーリズムの実践例

### 3.3 ジオツーリズム企画案発表会

令和4年9月8日（木）のジオツーリズム企画発表会は、受講者34名のうち30名が出席、1名はビデオ発表で参加した来賓11名、香川大学から国分伸二理事・副学長、山神眞一副学長が参加した。

(1) 日時：令和4年9月8日（木）13：30－17：40

(2) 場所：香川大学研究交流棟6階第1講義室

(3) スケジュール

13：30－15：00 発表（1番～18番）

15：10－16：40発表（19番～31番）

（休憩：審査）

17：10－17：40 修了証書授与・表彰

（司会進行：長谷川修一）

①修了証書授与：副学長 山神眞一

②表彰の審査結果発表：特任教授 長谷川修一

③表彰状授与：副学長 山神眞一

④祝辞：副学長 山神眞一

⑤受賞者挨拶

⑥集合写真：全員

(4) 審査員（4名）

四国運輸局観光部長 小倉一仁 氏

一般社団法人 四国ツーリズム創造機構副本部長 六車智和 氏

香川大学経済学部教授 西成典久

香川大学特任教授 長谷川修一

(5) 来賓（11名）

香川県交流推進部 佐藤今日子 氏

公益社団法人 香川県観光協会 会長 三矢昌弘 氏、安藤和昌 氏、塩崎正明 氏

一般社団法人 四国ツーリズム創造機構 会長 半井真司 氏

四国旅客鉄道株式会社 加藤隆司 氏、大熊伸二 氏、難波恵美 氏

KSB瀬戸内海放送株式会社 前田政裕 氏

株式会社 穴吹トラベル 阿部有香 氏

株式会社 ナイバ 山本和彦 氏

(6) 審査の加点基準（5点満点で採点）

①お客のターゲットは明確か

②料金設定は妥当か

③お客様を引き付ける魅力があるか

④その土地ならではの体験ができるか

⑤ストーリーが面白いか

⑥わかりやすい内容か

⑦大地とのつながりを感じられるか

- ⑧学びや発見につながるか
- ⑨安全か
- ⑩体への負担感が少ないか

(7) 受賞者

審査員の審査の結果、以下の受賞者に山神副学長・地域人材共創センター長から表彰状の授与が行われた。

・最優秀賞

「醤油とその歴史に触れよう・味わおう・ラグジュアリー小豆島ツアー」森川光与 氏

・優秀賞

「四国の恵みを感じる徳島ジオ・アドベンチャーツアー」中村一貴 氏

「林業女子と歩くぶらっとジオツアー」和田弘美 氏

・審査員特別賞

「瀬戸内ジオ釣りツアー」谷野宮竜浩 氏

「醤油とその歴史に触れよう・味わおう・ラグジュアリー小豆島ツアー」森川光与 氏

「花崗岩のダイヤモンド”庵治石”の可能性」大杉琴音 氏

「飯山×桃ツアー」中村千怜 氏

・受講者特別賞

「SANUKIジオロード」市川智子 氏

(8) 受賞者のコメント

・「四国の恵みを感じる徳島ジオ・アドベンチャーツアー」中村一貴 氏

他の発表者のレベルが高くて勉強になった。

・「林業女子と歩くぶらっとジオツアー」和田弘美 氏

今回参加して、ジオの面白さを改めて感じた。ジオ×○○のように自分の興味のあることとつなげると、広がっていくことが分かった。

・「瀬戸内ジオ釣りツアー」谷野宮竜浩 氏

あまりジオに特化せずに、自分の趣味をそのままツアーにした。

・「花崗岩のダイヤモンド”庵治石”の可能性」大杉琴音 氏

自分の興味のあることとツアーを組み合わせた。今後、今回の講座で学んだことを活かしてコンテンツ開発を行っていききたい

・「飯山×桃ツアー」中村千怜 氏

ジオ×食のツアーの開発をしたかった。この案は来年度てくてくさぬきに掲載予定の「ジオで巡るツアー」企画でもある。

・「SANUKIジオロード」市川智子 氏

「そらバス」を使ってアクティビティとアクティビティを繋ぎたいと考えた。今日発表されたそれぞれのツアーがブラッシュアップされて、「そらバス」を一緒に使えることを考えて、今回の企画となった。

(9) その他

発表後は動画をYouTubeで限定公開している。



ジオツアー発表会



表彰状授与



集合写真

写真4 ジオツーリズム企画案発表会

### 3.4 アンケート結果

第1回講座（6月30日）に「受講を決断した動機やきっかけ」を問うアンケートを実施した結果、「日頃から考えていたことにジオを繋げることによって、幅の広いツーリズムができるかもしれないから」、「地域資源を発掘し、コンテンツ開発を行うことを業務としているため」、「ジオパーク関連に参加してみたかった」等の回答があった。

第3回講座（9月8日）終了後のリカレント講座アンケートでは、「これまでとは違う視点で地質を捉えることができた」、「ジオの基礎知識があり、ツアーを組むことをビジネスにしたい人の募集にした方がよかったのではないか?」、「ステップアップ講座で次につなげてはどうか?」、「1人1人の講評が欲しかった」等の回答があった。

実施結果の詳細は図1、2に示す。

「ジオツーリズム・エキスパート養成講座」  
受講者アンケートの結果報告（一部）

受講者数 34 名のうち回答者 21 名（61.8%）  
→幅広い職域からの参加があった。

回答者の職域	人数
サービス業	5
その他非製造業	3
官公庁などの公務	3
建設業	3
教育、学習支援、医療・福祉・複合サービス業	2
倉庫・運輸関連業	1
農業・林業・漁業	1
宿泊業、飲食サービス業	1

**受講を決断した動機やきっかけを教えてください。**

知識向上 自己啓発

ツーリズムについて、日ごろから考えていたことにジオをつなげることによって、もっと幅の広がったツーリズムができるかもしれないと思ったことがきっかけです。職種が違う世界で生きてきた人間として、新しい一歩を発見することができれば、次の仕事への力になると思いました。

長谷川先生の授業を受講したいから

異業種の方々との出会いができる。

会社からの依頼

ラジオでおむすび山について話したいと思ったから。

地域資源を発掘し、コンテンツ開発を行うことを業務として行っているため、今後の業務に活かせると感じたためジオについて勉強したいです。

上司の勧め

講習の目的がわからなかったが、ジオパーク関連に参加してみたいと思った。

業界内からの情報で、会社の代表として参加した。

讃岐ジオパークについて関心があったため

→ジオパークに言及するもの、業務上の必要・可能性・関心、講師への期待など。

**受講してみた感想を自由に記述してください（任意）。**

今回の受講について、あと、1~2回の受講があればよかったと思った。

この講座を知ったきっかけは、ラジオの宣伝でした。「ジオに興味がある人ならば、誰でも参加可能」という文言を聞いて申し込みをしましたが、ただ興味があるだけの者が受ける講座内容ではなかったなと感じています。ジオの基礎知識があり、ツアーを組むことをビジネスにしたい人に限って募集をかけた方がよかったのではないかと思います。著名な方のお話をうかがえたのは大変勉強になりましたが、ジオの基礎知識がないと、置いてけぼりになる瞬間が多々ありました。課題となったプレゼンも、基礎知識がないので作るのに苦労しました。講座内容と募集対象者がマッチしているか、今後精査された方がよろしいかと思います。最終日に各賞を受賞したプレゼンについても、どこが評価されたのかを詳しく聞きたかったです。こういった内容が盛り込まれていると、ジオの観点からみて優秀とされるのか結局分かりませんでした。全員にプレゼンさせるよりも、優秀な企画を深掘りして欲しかった。一番知りたかったことが知れず、残念でした。

優秀なプレゼンテーションに学ぶことが多かった。

普段の仕事では出会えない職種の方々の意見や考えを知ることができて有意義であった。

今回の講座をそれだけに終わらせずに、ステップアップ講座などの形で次に繋げていただきたい。

ジオの視点から見る四国の可能性を感じた。今後自分自身の業務にも活かせることができる知識を取得することができ、非常に有意義な時間であった。

受講生が多かったためか発表がかなり駆け足で、一人一人にきちんとした講評がなかったのが大変残念でした。皆さん時間をかけて取り組んだと思いますので、次のステップに生かすためにもどういった点が評価されてどういった点が足りなかったのか、自分の発表についても他の人の発表についても知りたかったです。

3回目の発表の時間は3分だったのですが、もっと長くして、一日午前と午後の部に分けて発表することが出来るのではないかと思います。

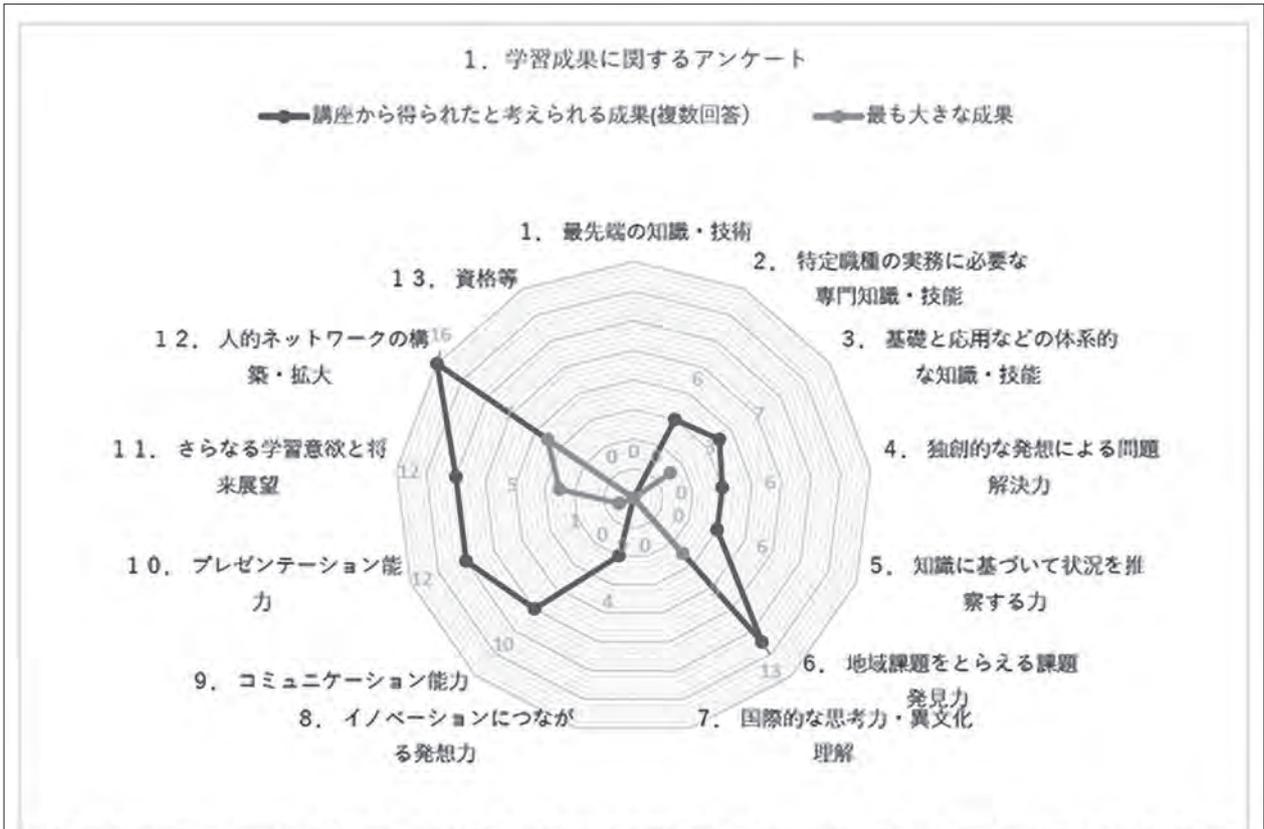
地質調査を生業としてきましたが、今回の講座では地質調査の知識を業界の方以外と共有することができ、これまでとは別の視座で地質について捉えることができるようになったことが大変有意義でした。それにもまして、業界以外の方々とは知り合え、情報共有できる基礎が築けたことが何よりの成果でした。

専門的な先生方や地域でご活躍されているの方々からの講義、また、色々なご経験やお仕事など幅広い分野の受講生の方々との交流はとても刺激になりました。

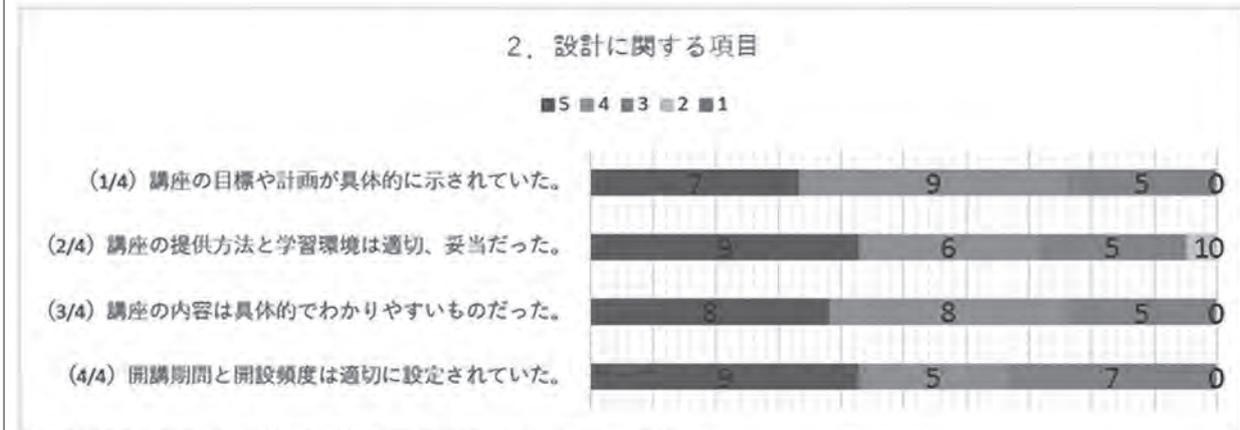
素晴らしい講師陣でしたので、講座としての満足度は高いのですが、学び足りないとの実感もあります。もう1日、2日、あってもよかったのではないかと思います。

→学習時間が短かったことについて言及するもの、新たな知見や出会い、フィードバックへの期待、講座内容と受講者との間でミスマッチが生じていたことなど。

図1 アンケート結果1



→12. 人的ネットワークの構築・拡大が最も多く選択された。1. 最先端の知識・技術、7. 国際的な思考力・異文化理解、13.資格等は選ばれなかった。



→概ね5 (あてはまる)、4 (ややあてはまる) と回答された。

(文責 大村隆史)

図2 アンケート結果2

## 4. 香川大学 ジオツーリズムによる地域活性化シンポジウム

### (1) シンポジウムの概要

ジオツーリズムの視点を取り入れた地域活性化について情報を共有し、議論を深めるため、令和5年2月15日（水）、大地の成り立ちを楽しみながら学べるジオツーリズムで地域の魅力を再発見し、地域をブランド化する取り組みを提案する「香川大学 ジオツーリズムによる地域活性化シンポジウム」を開催した。詳細は別稿で報告する予定であるが、概要は以下のとおりである。

### (2) 主催・共催

主催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

共催：讃岐ジオパーク構想推進準備委員会、(一社) 四国クリエイト協会

### (3) 内容

①開会挨拶：国分 伸二（香川大学理事・副学長）

②来賓挨拶：吉元 博文 氏（国土交通省四国運輸局長）

③来賓挨拶：佐藤 今日子 氏（香川県交流推進部長）

④活動報告：「ジオツーリズムによる香川県の魅力発信」

長谷川 修一（讃岐ジオパーク構想推進準備委員会委員長）

⑤基調講演：「ジオグルメ」で牽引するせとうち讃岐ジオツーリズム

巽 好幸 氏（ジオリブ研究所長・神戸大学名誉教授）

⑥パネルディスカッション：ジオツーリズムを活用した地域のブランド化について

パネリスト

岡田 一雄 氏（㈱オーケイブランド代表取締役・ジオリブ研究所プロデューサー）

巽 好幸 氏（ジオリブ研究所長・神戸大学名誉教授）

加藤 隆司 氏（四国旅客鉄道株式会社常務取締役）

細川 治子 氏（Your Tour Guide代表）

コメンテーター 三矢 昌洋 氏（一般社団法人 香川県観光協会会長）

庵原 伸二 氏（一般社団法人 四国クリエイト協会企画部長）

内田 真一 氏（公益財団法人 福武財団助成部門セクションリーダー）

コーディネーター 長谷川 修一（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長）

⑦閉会挨拶：吉田 秀典（香川大学副学長）

## 5. おわりに

香川大学では2016年度から「讃岐ジオガイド養成講座」を開講し、地域と連携したジオ教育、ジオツアーのできる人材を育成している。本年度は、高校生から地域のことを学ぶ「高校生のためのジオアート Jr.マイスター養成講座」（香川大学香川大学地域人材共創センター活動報告、2023. 3）、ジオツーリズムを企画・運営できる専門的なガイドを育成するリカレント専門講座「ジオツーリズムエキスパート養成講座」が始まった。今後も、高校生、地域連携、ジオツーリズムの人材育成を継続して行い、「讃岐ジオパーク構想」の人材育成を担っていく予定である。

謝辞：香川大学リカレント専門講座「ジオツーリズム・エキスパート養成講座」を開講するにあたり、講師の皆様及び、地域人材共創センター講師 大村 隆史氏、並びに地域創生推進部地域連携推進課 高橋 神奈男氏にご協力をいただきました。ここに記して感謝の意を表します。

#### 【参考文献】

- 1) 百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』：ジオツーリズム  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/ジオツーリズム> (2023年1月30日閲覧)
- 2) 日本大百科全書 (ニッポニカ)：「ジオツーリズム」の解説, <https://kotobank.jp/word/ジオツーリズム-1612114> (2023年1月30日閲覧)
- 3) Arouca Geopark: Arouca Declaration [EN]  
<http://www.aroucageopark.pt/en/documentation/> (2023年1月30日閲覧)
- 4) National Geographic: Geotourism Principles  
<https://www.nationalgeographic.com/travel/article/geotourism-principles-1> (2023年1月30日閲覧)